

ハッピー 金谷の餅つき踊り保存会



金谷の餅つき踊り保存会の皆さん

お正月に食べるものと聞くと連想される「お餅」。皆さんは実際に、お餅つきをしたことはありますか？今回は金谷の餅つき踊りを継承する「金谷の餅つき踊り保存会」をご紹介します。

金谷の餅つき踊りはその昔、岩殿山に住む悪竜を退治した坂上田村麻呂に感謝して喜びのあまり踊りながら餅



をついてもてなしたのが始まりと言われていいます。昭和52年には、埼玉県指定無形民俗文化財の指定を受けました。餅つき踊りには変化に富んだ様々なつき方

があり、その型は12型あります。基本は「三本杵」といって3人で餅をつきますが、呼吸が合わないとうまくつけません。それだけ、練習を積んできた経験やチームワークが鍵となる踊りです。



毎年11月23日に上野本の氷川神社で五穀豊穡を祈念して行われていた餅つき踊りですが、会員の高齢化や後継者不足で平成22年に一度活動を休止していました。しかし平成30年に多くの地域の若者たちが伝統継承のため加入し、復活を遂げました。昨年10月6日(日)には静岡県で開催された第66回関東ブロック民俗芸能大会に出場し、関東地域から選ばれた団体として披露をするなど、活動の場を広げています。

会長の鈴木新一さんは活動を始めて50年以上になるそうです。過去には日本万国博覧会(大阪万博)など、様々な場所で披露されてきました。鈴木さんは「若い世代の皆さんにぜひ保存会に入っていただき、伝統ある金谷の餅つき踊りを継承して欲しいです」と未来を見据えた思いを語ってくれました。

まちかど スケッチ

陽気なリズムの“ZUMBA”はいかが？



市民健康増進センターでは、市民の皆さんの健やかな生活を目指して、様々な教室を開催しています。今回取材したZUMBA(毎週火曜日開催)は、南米の陽気な音楽に合わせて、講師の動きを真似しながら踊るダンスで「初めての参加も大歓迎！」だそうです。

今年、新たなことにチャレンジしてみませんか？

笑顔でツナグ



11月10日(日)、市農林公園で「ツナグマルシェ2024」を開催しました。福祉事業所が育てた旬の採れたて野菜やパンなどの販売ブースのほか、キッチンカーの出店、ワークショップも開かれました。また、馬やポニー、子ヤギなどのふれあいも行われ、来場者は楽しい時間を過ごしました。



この広報紙にあなたが写っていましたら広報広聴課へご連絡ください。写真や写真データを差し上げます。

ミニ情報

人口と世帯(12月1日現在)

人口	91,262人	(+ 9)
男	45,799人	(- 12)
女	45,463人	(+ 21)
出生(11月中)	41人	(- 5)
死亡(11月中)	103人	(- 4)
転入等(11月中)	342人	(- 176)
転出等(11月中)	271人	(- 10)
世帯数	43,747世帯	(+ 56)
		* ()は前月比

交通事故発生件数(11月中)

発生件数	327件*
人身事故	34件(死者:0人、けが人:44人)
物損事故	293件
	*東松山警察署管内(東松山市、滑川町、川島町、吉見町)の件数

火災と救急件数(11月中)

火災件数	0件
救急件数	441件(交通:30件、急病:264件、その他:147件)
搬送人員	372人

市内の空間放射線量測定結果

市内34か所で空間放射線量を定期的に測定しています。12月の測定においても、基準値を下回っています。測定結果の詳細については、市HPに掲載しています。
環境政策課 ☎63-5006 ☎23-7700

一字違いの縁 (東松山×東松島)



11月9(土)・10日(日)、市民32人の参加のもと東松山市交流バスツアーを開催しました。東松島市震災復興伝承館では、現地語り部の話を真剣に伺い、震災当時の状況を肌で感じました。また市内観光スポットを巡り、東松島市の魅力を味わっていただきました。参加者からは「実際に来てよく理解できました」など感想があり、震災から始まった両市の縁が、今後も続いていくことに思いを馳せていました。



第1回東松山産業祭



11月16日(土)、岩鼻運動公園で第1回東松山産業祭を開催しました。会場では、多くの人が産業関連ブース、ステージ発表に足を運びました。訪れた人は、飲食を楽しんだり、ブースに関連した服を着て写真を撮ったり、思い思いの時間を楽しんでいました。



動物ZOO鑑

埼玉県子ども動物自然公園

～園長おすすめ デバネズミ～

ハダカじゃないデバネズミ

11月某日、熊本大学から待ちに待ったネズミが4頭到着しました。アフリカ南部が故郷で地中にトンネルを掘って暮らす「ダマラランドデバネズミ」です。1998年に「ハダカデバネズミ」の国内初展示が進み、色々資料を集めていたときに見つけた「ダマラランドデバネズミ」の写真。立派な前歯と小さな目は明らかにデバネズミなのに、全身茶色系の毛が生え、頭には河童の皿のような白い模様がなんともチャーミング。「ハダカじゃないデバネズミがこの世の中にいるんだ!」と驚きました。その頃から「いつか、この2種を並べて展示できたらいいね」とスタッフで話していました。それが20年以上たった今、叶ったのです。

ダマラランドデバネズミは、ハダカデバネズミよりひと回りもふた回りも体が大きくやや攻撃的。立派な前歯もハダカデバネズミより大きいので、担当しているスタッフも「結構噛んでくるんですよ～」と日々奮闘しています。中にはおっとりタイプもいて4頭はそれぞれ性格も違うようです。なにより頭の白い模様の形が違うので、ぜひ個体識別にも挑戦してみてください。赤ちゃんが生まれて頭数が増えちゃう前にぜひ!!

※現在国内の動物園でダマラランドデバネズミを展示しているのは、熊本市動物園と当園のみ。

※11月号でお知らせしたアマミルリカケスの展示は、鳥インフルエンザ対策のため延期しています。

※2月号は植物ZOO鑑です。



こちらはハダカデバネズミ



こちらがダマラランドデバネズミ



地中に暮らすためパイプを用意



頭の模様はみんな違う